

## 船内の高頻度接触面の衛生管理はできていますか？

こちらは、英文記事「[Does your onboard hygiene management cover high touch surfaces?](#)」（2022年3月22日付）の和訳です。



肉眼では見えませんが、私たちの周りには細菌がいます。手で触れる頻度が高い表面ほど細菌が付いている可能性も高くなり、こうした表面を「高頻度接触面」と呼びます。

高頻度接触面の典型的な例としては、レーダーなどの機器の操作部、ドアノブ、電灯のスイッチ、手すり、キーボード、携帯電話、テレビのリモコン、蛇口などがあります。どんな物であっても、細菌は場所によっては表面で数時間から数日生息できるため、人がそこに触れた後で自分の鼻や口や目を触ったりすると感染してしまうおそれがあります。インフルエンザなどのウイルスの拡散は、手を介した伝播が主な要因となっているのです。

そのため、ウイルスが体内に侵入して感染しないようにするには、高頻度接触面から細菌を除去することが重要です。感染リスクを減らすために必要なのは以下の2点です。

- 1点目は、高頻度接触面を洗い出して定期的に消毒することです。

- 2点目は、手洗いや消毒を定期的に行うなど、手指を清潔に保つことです。これについては以前の Alert 記事「[手洗いの名人になりましょう！](#)」でご紹介しています。

まず必要なのは高頻度接触面を洗い出すことです。どこを高頻度接触面とするかは、以下のようなさまざまな要素によって変わってきます。

- 場所の種類（作業場所などの公共空間なのか、個人空間なのか）。ブリッジや機関室や食堂といった場所は、船内の他の場所と比べると高頻度接触面が多い可能性があります。
- 感染者が出入りした場所。
- 日々の通常業務で頻繁に触れる表面。

ドアノブの裏側などは高頻度接触面であっても気づきにくく、洗い出し作業から漏れてしまうおそれがあるので注意してください。

洗い出しが終わったら、次は毎日の消毒作業スケジュールを決めましょう。高頻度接触面の消毒は低頻度接触面より優先的に消毒する必要があります。消毒用の化学薬品は人体に有害な場合もあるため、製品に記載されている使用上の注意をよく読んでから使用してください。

最後に、高頻度接触面は細菌やウイルスのたまり場となりうると理解しておくことが重要です。自分自身の健康のためにも、こうした場所の洗い出しと消毒を船内衛生管理に組み込む必要があります。

## Gard のロスプリベンション資料

ポスター：[高頻度接触面は細菌の巣窟](#)

ポスター：[手洗いの名人になりましょう！](#)

## 関連リンク

- 「[Cleaning and disinfecting public spaces（公共空間の清浄と消毒）](#)」（カナダ公衆衛生庁）
- 「[Cleaning for Infection Prevention: Cold and Flu（風邪・インフルエンザ予防のための清浄）](#)」（国際衛生供給協会：ISSA）
- 「[Advisory on Surface Cleaning and Disinfection for COVID-19（新型コロナウイルス感染症予防のための表面の清浄・消毒に関する勧告）](#)」（シンガポール環境庁）

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。